



かみとんだ 議会だより

第 118 号

2007. 6



2007 プロ野球 ウェスタンリーグ公式戦
阪神タイガース VS サークル (オリックス)
5月12日・13日に上富田スポーツセンターで開催

3月議会の一般質問は5議員が登壇!

木村政子議員：南紀の台の町道の全面改修を、新川に防犯灯の設置を、就学援助制度について、男女共同参画の推進について

吉田盛彦議員：上富田すさみ線烏淵工区の進捗状況について、生馬小学校の耐震を問う、生馬小学校救馬谷児童通学路の安全確保について

井潤 治議員：保育所問題について、国民健康保険について、介護保険について、教育問題について、新型交付税と「三位一体改革」による税源委譲と定率減税の影響について

大石哲雄議員：熊野高校への看護学科新設について、各小中学校の保有財産について

三浦耕一議員：公共下水道について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報編集委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

3月定例会は、平成19年3月7日に開会し、3月15日に閉会しました。

3月 議会

3月定例会に提出された案件は、条例等9件、補正予算5件、平成18年度各会計の当初予算15件、町道認定・変更が2件、工事請負変更契約1件、人事案件1件で、いずれも原案どおり可決、承認しました。

また、議会からは和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙及び上富田町議会会議規則の一部改正、委員会条例の一部改正、意見書の議案3件が提出され、いずれも全会一致で可決しました。

選挙

◎和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙(選出)について

- ・平成20年4月より開始される後期高齢者医療制度に伴い、和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出を行いました。この広域連合議会は県下30市町村で構成され、和歌山市が2名、その他市町村は各1名の議員を選出することになっています。その結果池口公二氏(現議長)を選出しました。

条例関係

◎紀南地方老人福祉施設組合規約の変更に関する協議について

◎和歌山県町村議会議員等公務災害補償組合規約の変更に関する協議について

◎和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約の変更に関する協議について

- ・上記3件については、地方自治法の一部改正に伴い、助役を副町長に、収入役制度の廃止による会計管理者の設置及び構成市町村の変更及び文言等の改正をするものです。

◎上富田町高額療養費貸付条例を廃止する条例

- ・この条例は昭和52年10月に、高額療養費の支払に困難な者に9割の貸付をすることができる制度として制定しましたが、平成5年4月より高額委任払い制度ができ、及び本年の4月からの健康保険法の一部改正に伴い、70歳未満の被保険者の入院にかかる高額療養費の支払が現物給付化になること、また平成7年度より当制度の利用実績がないことなどから、今回、条例を廃止するものです。

◎上富田町特別会計条例の一部を改正する条例

- ・上富田町高額療養費貸付条例の廃止に伴い、この条例により措置していましたが特別会計高額療養費貸付事業を廃止するための改正です。

◎職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

- ・平成18年の人事院の勧告に基づき、配偶者以外の扶養親族についての扶養手当について5千円から6千円に改正するものです。

◎上富田町集会所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

- ・今回、第2丹田台会館を管理条例に追加するものです。

◎上大中清掃施設組合規約の変更に関する協議について

◎富田川治水組合規約の変更に関する協議について

- ・上大中清掃施設組合規約及び富田川治水組合規約の変更に関する協議については、地方自治法の一部改正に伴い、助役を副町長に、収入役制度の廃止により会計管理者の設置及び文言等の改正をするものです。

◎上富田町議会会議規則の一部を改正する規則

◎上富田町議会委員会条例の一部を改正する条例

- ・この2件については議員からの提出議案で、今回地方自治法の一部改正があり、これに伴い議会の会議規則と委員会条例の一部改正を行うものです。

町道の認定・変更

◎町道の認定について(4路線を新たに認定)

- ・畑6号線・7号線・8号線の3路線を認定(水穂団地造成による幹線道路及び団地内の道路)延長計861.7m

- ・上田熊畑山線を認定(県道下川上牟婁線の岩田工区の供用開始により、旧県道の上田熊堤防部分を町道に移管)延長887.2m

◎町道の変更について

- ・畑6号支線の起点変更(水穂団地造成の幹線道路認定に伴い、起点変更 延長79.1mの減少)
- ・企業団地3号線の終点変更(企業団地内の道路で、延長24.6mの減少)

工事請負変更契約

◎工 事 名・・・平成18年度 公共下水道事業 生馬下水道管(2工区) 布設工事(補助)

変更契約額・・・991,200円の増(変更前51,770,250円)

契約相手・・・青木あすなろ建設株式会社大阪本店 取締役専務執行役員本店長 上野康信

- ・変更契約の主な内容は、推進工法等の変更に伴い増額をするものです。

人事案件

◎任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意されました。 上富田町岡617番地 平田幸次氏

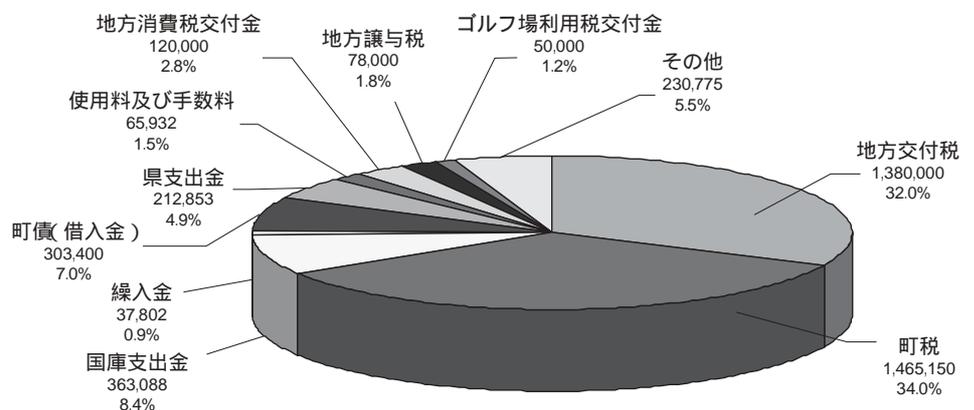
予算関係

平成19年度の一般会計・特別会計予算額 (単位：千円)

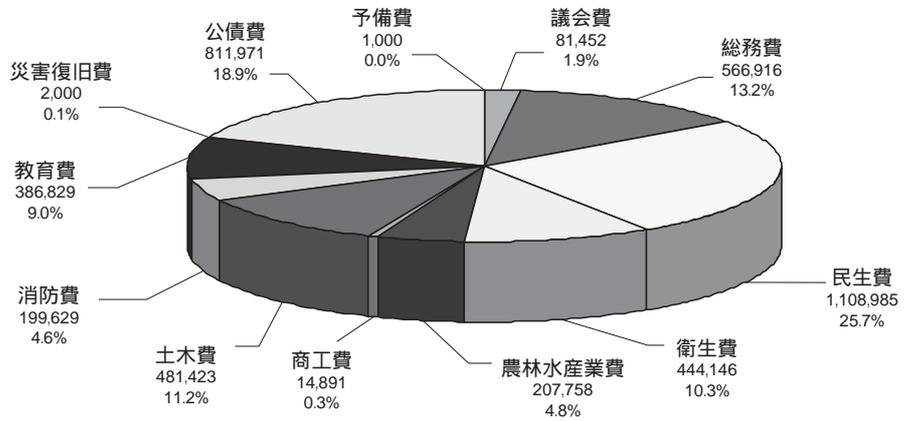
会 計 名		予 算 額	
一 般 会 計		4,307,000	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	1,638,884	
	老 人 保 健	738,365	
	介 護 保 険	708,281	
	町 営 砂 利 採 取 砕 石 事 業	29,400	
	宅 地 造 成 事 業	144,100	
	共 同 汚 水 処 理 施 設 事 業	11,303	
	水 道 事 業	収 益 的 事 業	477,910
		資 本 的 事 業	220,506
	宅 地 取 得 資 金 貸 付 事 業	4,739	
	住 宅 新 築 資 金 貸 付 事 業	21,555	
	奨 学 事 業	5,092	
	農 業 集 落 排 水 事 業	168,683	
	公 共 下 水 道 事 業	327,617	
朝 来 財 産 区	7,000		
西 牟 婁 郡 公 平 委 員 会	1,298		
合 計		8,811,733	

一般会計

《歳入》
4,307,000千円



《歳出》
4,307,000千円



平成19年度の一般会計当初予算は4,307,000千円で、対前年度と比較すると823,000千円、16%の減となっています。これは、朝来小学校の校舎や公営住宅の完成等、投資的な事業費の減によるものです。

編成にあたり、当然ながら従前から打ち出している住民生活に直接影響のない経費や庁内経費の節減を継続しています。歳入は1年間を見込んだ決算に近い額で、一方、歳出は歳入に見合う額とし、基本的には財政調整基金及び減債基金よりの繰入措置はしていません。

よって、1年間を見通しますと大きな経費である一部事務組合の負担金や扶助費、特別会計への繰出金等に不足額が生じてくるものと考え、これらの対応については、歳入の状況や歳出の時期を勘案し補正措置をすることになります。

尚、住民負担については、税源移譲による負担増は基本的にはありませんが、減税措置の廃止により国民健康保険税や保育料について負担増になるケースはありますが、これら以外については、今年度は負担増となる改定はしていません。

主な歳出

《議会費》

- ・ 定例会等議事録作成業務委託料 1,241千円
(3月・6月・9月・12月に行なう議会定例会等の会議録作成委託料)

《総務費》

(総務管理費)

- ・ 地籍調査費 60,143千円
(平成18年度末では、町内で約28%の進捗率となっています。)
- ・ くちまのコミュニティバス運行経費補助金 16,500千円
(町内で運行しているコミバスの運行経費を委託している明光バスへ補助)



コミュニティバスを利用して通学する子どもたち
(南紀ノ台で)

- ・ 特別会計砂利採取砕石事業繰出金 10,000千円
- ・ 口熊野町づくり事業費(さわやか上富田協働推進事業補助金) 10,000千円
(平成19年度の新規事業で、行政と団体等が協働で取り組む事業に対して助成)

- ・人権推進費 885千円
- ・チャイルドシート購入補助金 400千円
(購入費10,000円を上限として、その半額を補助)
- (徴税费)
- ・和歌山地方税回収機構負担金 2,900千円
(税の滞納整理のため県下市町村で平成18年度より設立した回収機構への町負担金)
- (戸籍住民基本台帳費)
- ・住基ネットワークシステム借上料 4,064千円
(住民基本台帳のネットワークシステムに伴う費用)

《民生費》

(社会福祉総務費)

- ・特別会計介護保険会計繰出金 127,500千円
(介護保険会計の町負担分として一般会計より繰出)
- ・地域福祉センター管理委託料 2,500千円
(上富田福祉センターを町社会福祉協議会に管理委託する費用)



町社会福祉協議会に指定管理委託をしている上富田福祉センター

(老人福祉費)

- ・緊急通報監視センター委託料 3,780千円
(一人暮らし高齢者の安否確認を総合警備保障に委託)
- ・敬老年金 3,000千円
(80歳以上の方に、年額3,000円を支給)
- ・在宅ねたきり老人介護者手当 960千円
(月額4,000円を在宅介護されている方に支給)

(障害福祉費)

- ・扶助費(知的障害者施設介護給付費 他) 131,135千円
(障害者自立支援法に係る福祉サービス給付費等)

(社会・児童福祉医療費)

- ・特別会計国民健康保険並びに老人保健会計へ繰出金 170,999千円
(国保会計と老人保健会計の町負担分を一般会計より繰出)
- ・扶助費(重度心身障害児(者)・乳幼児・ひとり親家庭 他医療費) .. 63,500千円
- ・後期高齢者医療費システム開発委託料 10,000千円
(平成20年4月より開始される75歳以上の後期高齢者医療制度に伴う電算システムの開発費用)
- ・県後期高齢者医療広域連合負担金 7,778千円
(平成20年4月より開始される75歳以上の後期高齢者医療制度を県下市町村による広域連合で運営するための町負担金)

(児童福祉費)

- ・ 保育所運営費 314,381千円
(町内5つの保育所の運営費)



こいのぼりと一緒に
(岩田保育所で)

- (災害救助費) 12,050千円
(災害弔慰金・災害見舞金・災害援護資金貸付金等)

《衛生費》

(保健衛生総務費)

- ・ 公立紀南病院組合負担金(運営費他) 51,842千円
(田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町で組織する組合への町負担分)
- ・ 委託料(乳幼児健診・妊産婦検診 他) 4,402千円
(医療機関等へ委託)
- ・ 病院群輪番制負担金 1,745千円
(休日における診療当番の医療機関に係る負担金……田辺周辺広域市町村圏組合で調整)

(予防費)

- ・ 委託料(各種検診、インフルエンザ 他) 31,806千円
(医療機関等へ委託)



町健康診査のようす
(上富田町保健センターで)

(環境衛生費)

- ・ 斎場事務業務委託料 7,820千円
(白浜町の斎場使用に係る委託料)

(清掃総務費)

- ・ 富田川衛生施設組合負担金 87,000千円
(白浜町・田辺市・上富田町で組織する一部事務組合への町負担金)
- ・ 上大中清掃施設組合負担金(運営経費他) 85,300千円
(田辺市・上富田町で組織する一部事務組合への町負担金)
- ・ 委託料(可燃物、不燃物収集委託料 他) 72,895千円
(町内の可燃物、不燃物収集に係る委託料 他)
- ・ 合併処理浄化槽補助金 15,744千円
(各家庭における合併処理浄化槽設置に伴う補助金 区域制限等条件あり)
- ・ (財)紀南環境整備公社運営費補助金 1,746千円
(紀南の11市町村でゴミ最終処分場の計画を進めている公社への町負担分)

- ・電気式生ごみ処理機購入費補助金 200千円
(購入費の1/3を補助、但し上限20,000円)

《農林水産業費》

- ・特別会計農業集落排水事業繰出金 120,505千円
(特別会計農業集落排水事業会計へ一般会計から繰出)
- ・中山間地域等直接支払事業交付金 17,000千円
(中山間地域の農地の遊休地を防ぐために事業実施地区へ交付)



中山間地域の取り組み
(岡地区 小郷集落農道舗装)

- ・森林整備地域活動支援交付金 6,800千円
(荒廃した森林の現況を確認し、その整備を目的に西牟婁森林組合等に交付)
- ・経営構造対策事業費負担金 6,000千円
(JA上富田事業所の梅選果機老朽に伴う改修負担金)
- ・上富田町農業振興協議会補助金 5,424千円
(協議会は、農業振興の研究、研修、事業等を行っている。)
- ・日本一うめ産地支援事業費補助金 1,600千円
(生育不良の梅に対し、樹勢回復を実施する補助金で、実施主体のJA紀南に交付)
- ・林業労働力確保総合対策事業費補助金 828千円
(林業従事者の確保を目的に、西牟婁森林組合に補助)

《商工費》

- ・事業所等立地促進基金積立金 5,000千円
(上富田町へ新たな事業所等の立地促進を奨励するための基金積立金)
- ・商工会補助金 3,300千円
(上富田町商工会への補助金)
- ・知的創造活動促進奨励金 399千円
(工夫・発明等の特許権、商標登録等に要する国への費用について、町が一部助成)

《土木費》

- ・市ノ瀬橋改良工事請負費 181,800千円
(平成15年度から平成20年度にかけて施工の平成19年度工事費)
- ・特別会計公共下水道事業繰出金 99,287千円
(特別会計公共下水道事業会計への一般会計からの繰出金)
- ・公営住宅建設事業工事請負費 79,400千円
(旧水穂住宅等の除却工事費 他)



新住宅に移転後
除却予定の水穂住宅(朝来)

- ・公営住宅修理工事請負費 …………… 10,800千円
(町営住宅の修繕費)
- ・高速道路推進費 …………… 14,360千円
(上富田町岩崎 野田地区の排水対策に係るポンプ設置工事費 他)
- ・県営事業負担金(県道改良工事) …………… 5,000千円
(町内で実施している県営道路改良工事に伴う町負担金)
- ・富田川治水組合負担金 …………… 3,983千円
(田辺市、白浜町、上富田町で構成する富田川治水組合への町負担金)



富田川治水組合の「よみがえりの森植樹祭」(3月11日 田辺市中辺路町石船で)

- ・木造住宅耐震診断業務委託料 …………… 300千円
(昭和56年以前建築の住宅で、200㎡以下の家屋が診断の対象・個人は無料)
- ・木造住宅耐震改修費補助金 …………… 600千円
(診断を行い該当すれば、改修費用の2/3を補助(最高60万限度に補助))

《消防費》

- ・消防事務業務委託料 …………… 176,849千円
(消防事務に係る田辺市への委託料……………上富田消防署分)
- ・備品購入費(防災用備蓄備品等) …………… 1,326千円
(地震等の防災に備えての備蓄品等の購入費)
- ・県防災ヘリコプター運航維持運営負担金 …………… 1,235千円
(県防災ヘリコプター運航に係る町負担金)
- ・自主防災組織育成事業補助金 …………… 1,000千円
(大規模災害に備えて、町内会等、地域での自主防災組織設立に係る補助)

《教育費》

- ・文化会館運営費(自主事業委託料他) …………… 38,086千円
(上富田文化会館の管理・運営・催しに係る費用)
- ・海外研修業務委託料 …………… 7,820千円
(毎年実施している上中生徒のオーストラリア研修委託料)



平成18年度の海外研修より(オーストラリア タミンミンハイスクールで)

- ・朝来小学校建築事業費(仮グラウンド整備工事請負費) …………… 7, 500千円
(朝来小学校建築に伴う仮グラウンド整備費用)
- ・私立幼稚園就園奨励費補助金 …………… 7, 100千円
(私立幼稚園就園保護者への奨励補助金・・・所得制限有り)
- ・放課後児童対策業務委託料 …………… 14, 204千円
(あすなろ学童保育、なごみ学童保育の業務委託料)
- ・あすなろ学童保育所仮設教室整備工事請負費 …………… 6, 500千円
(あすなろ学童保育の仮設教室整備費用)
- ・英語指導助手設置事業費補助金 …………… 5, 500千円
(中学校等の英語指導助手に係る費用)
- ・紀州口熊野マラソン実行委員会補助金 …………… 3, 500千円
(第13回紀州口熊野マラソンに伴う実行委員会への補助金)



12回紀州口熊野マラソンより(役場前をスタートする小学生ランナー)

- ・体育施設管理費 …………… 39, 231千円
(上富田スポーツセンターに係る管理費及びテニスコート改修工事費)
- ・生涯学習事業費(ボランティア活動、上富田町文化協会活動補助金 他) 8, 127千円
(生涯学習の活動に伴う費用)

《災害復旧費》

- ・岩田地内地すべり対策費 …………… 1, 000千円
(岩田地区地すべりに伴う、避難先の家賃補助等の対策費)



岩田地区地すべりの現況(5月2日現在)

一
般
質
問

ここが聞きたい!

3月定例会の一般質問は、日程3日目の3月13日行われ、5議員が登壇し、当局の考えを質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。

木村政子議員

南紀の台の町道全面改修計画について
新川に防犯灯の設置を
就学援助制度について
男女共同参画の推進について

①南紀の台の町道全面改修計画について

質問 南紀の台の道路は長年改修されていないため、マンホール周りの舗装脱落による陥没、亀裂が著しく、車両の通行、自転車の走行や歩行時に大変危険。年次計画で全面改修計画を立ててはどうか。当面七号線と二三号線の傷みがひどい所を優先的にやってはどうか。

産業建設課長 毎年四月に町内会要望が出されるが、そのほとんどが河川浚渫と道路補修で緊急度の高い順に施工している。町道の管理延長が六〇一路線、約二・三km。南紀の台には一号線から五四号線まである。七号線のE.P(終点)付近の改修は、舗装業者に発注済。財政状況の許す限り、順次補修していきたい。

②新川に防犯灯の設置を

質問 高校生からクラブ活動で夜間の帰宅になった時、新川に街灯がなく、自転車の灯りだけでは田

んぼに落ちそう。防犯灯がほしいとの声があります。電気代が地元負担になる関係で、解決すべき条件はあるが、早期実現を。又、設置されるまでの間、安全確保のため、ガードパイプが設置されている右岸側を通るように指導してはどうか。

町長 電気代の地元負担や農作物の影響の問題が解決できるなら設置する。

教育長 新川の通学路については、安全な右岸側の使用を指導する。熊野高校にも通学の安全への配慮をお願いする。

③就学援助制度について

質問 対象は生活保護を受けている要保護者と、これに準ずる程度に困窮している者となっているが、十八年度はどの程度この制度が利用されているか。町として、補助対象品目を増やしたり、国の基準額に上乘せする考えはないか。又、この制度の周知はどうしているか。

町長 町内にも児童虐待

で食事を与えない事例があり、生活困窮援助食物物資支給制度で年間何件か対処しているの、就学援助は現行のままでありたい。

教委総務課長 十八年度の現状は、小学生一〇〇八名の内一二二名、中学生四四七名の内四八名が対象で、約一割となっている。

周知は児童生徒の様子を注意深く観ながら相談や助言に努めている。

④男女共同参画の推進について

質問 四月の人事異動で女性の登用は期待できるか。本庁職員数に占める女性の割合と役職率、パート職員の総数と女性の割合は。公立学校の管理職に女性がいないことをどう考えるか。

町長 基本的には男女を問わず能力を十分發揮出来る役職を持ってもらいたい。

総務政策課長 本庁の職員数は一〇四名で女性は一九名、一八％。役職率は七名で二二％、パートは事務補助等が三八名、

保育、調理補助等で五二名、合計九〇名で内女性は八一名です。

教育長 現在町内には女性の校長、教頭の管理職はいない。今後、女性の管理職への昇任試験と登用を進めていきたい。



通学路となっている新川沿いの道(右岸)ガードパイプ設置も完了



青岡盛彦議員

上富田すさみ線鳥瀧工区の進捗状況について
生馬小学校の耐震を問う
生馬小学校救馬谷児童通学路の安全確保について



工事が再開した県道上富田すさみ線 鳥瀧工区（橋梁工事）

上富田すさみ線鳥瀧工区の進捗状況について

質問 十二月十三日工事中に橋梁の落下事故で一人が亡くなる事故が発生、亡くなられた方に冥福をお祈り申し上げる所ですが、発生が午前十三時三十分頃で、亡くなられた方が収容されたのが午後五時という長時間となり、県の対応に疑問を感じる。この事故以来三ヶ月近くなるが今だ工事が再開されていないが、事故の究明はできたのか。

また、この事故で進捗の影響と、現在の予算では十年位かかる。せめて五年で終わるよう、県に対し倍額の予算を要求されたい。

町長 死亡者が出るという結果が出ている救出に手間取った事実は隠せないと思っている。今後消防署なり、関係者と協議をさせていただきたい。

落下原因については、警察ほか研究機関が調査中で、県に対し早期解決に向けて取り組んでいただきたいし、全体的に延長のないようお願いするよう取り組む。

産業建設課長 警察、労働基準監督署から再開の許可がおりている。県事故調査委員会からも近いうち再開のめどが立ったと回答がきている。



生馬小学校の耐震を問う

質問 南海東南海地震が心配されている今、生馬には公共施設で耐震施設は消防署ぐらいで、避難場所になっている生馬小学校の耐震が心配。調査はされたのか。建築そのもの建て替えが必要では。

町長 耐震調査は二次診断の必要があると思う。生馬地域での拠点なる防災施設については生馬小学校であり体育館である。朝来小の後は生馬小学校で理解をいただけるよう言っている。他の議員さんもご理解をお願いしたい。



昭和55年度建築の生馬小学校

生馬小学校救馬谷児童通学路の安全確保について

質問 救馬谷児童の安全の確保については色々な案があったと聞くが、教育委員会の取り組みはどうだったのか経過を教えてください。

教委総務課長 この地区は学校までの距離が大変長い。町内で一番長く交通量が多く、地理的条件を踏まえており、特にこの地区の子どもは自転車通学の許可が出る所。教

育委員会も学校も苦慮している通学の方法については三つあり、この案について色々検討を重ねた。特に保護者とは機会あること意見を聞いているが、様々な意見が出るが、現状では横断歩道のついでに今の大型量販店の前を通って、県道を通学するところに落ちついていて。今後も交通量の推移等、色々状況が変わる場合もあるので、機会をとらまえ、保護者の方々と協議しながら検討を続けたい。

井 潤 治 議員

保育所問題について 国民健康保険について 介護保険について

ほしいという要望やかつて保育料徴収区分を細分化してました。一万円単位とかに細分化すれば、それだけで保育料の減額（値下げ）になる。考えていただきたい。

保育所問題について (保育料)

質問 定率減税半減により所得の変化はなくとも二〇〇六年度の所得税額はそれまでの九／八倍に増え、保育料の階層区分が上昇してしまう可能性がある。厚労省は、二〇〇六年十二月に保育関連の通知を改定し、保育料の階層区分の区切になる税額を九／八倍して保育料に影響しないようにした。町の階層区分も改定が必要。作業を早くすめらねばならない。

●子育て支援一つ保育所の存在は、若い共働き夫婦には、我が子の子育てを託せる最後の砦です。保育料をもっと安くして

ほしいという要望やかつて保育料徴収区分を細分化してました。一万円単位とかに細分化すれば、それだけで保育料の減額（値下げ）になる。考えていただきたい。

町長 合併問題の議論のときにこの界限、同じ格好の階層を取るとしている。保育所運営で国県補助金なしで町費一億四、〇〇〇万円ほど出している。現状の保育料体制をご理解いただきたい。保育の時間延長（延長保育）の声がある。この事は職員にも言っている。

●議員の言う通り十九年度の改定案が来ています。徴収基準額表で第四階層以降が変更され幅が広がっています。担当で精査して研究する。

国民健康保険について (国保税)

滞納の原因は国庫支出金の削減、一九八四年に医療費総額方式から医療給付総額方式へと替えられ、当時医療総額の四五％から三八・五％に、これは給付の五十％になりそれが現在三四％に負担金が削られていることです。滞納による資格証の発行、短期の資格証の発行は何世帯で、その中に母子世帯、乳幼児を抱える世帯がないか。

国保税について六五歳から七四歳まで年金徴収となり、又公的年金控除が一四〇万円から一二〇万円に削られるなどの税制改革に連動した国保税の大幅増が高齢者に襲いかかっています。①町村会に対し国庫負担金を一九八四年度当時に戻すよう意見書提出を申し入れていただきたい。②国保税を払っている人の感じているのは、他の社会保障関係の負担と含めて、もう限界やというところに来ています。国民皆保険の全体的な確保が出来るよう国保税の値下げをされたい。

町長 国保の運営協議会で十九年度の予定を説明

しています。最大の課題は保険税の改定です。十九年度末には基金がなくなっても国民健康保険税は今のままにする方針を出しています。

資格証明の発行ですが国保税の未納が多くなるのは国保だけでなく他のも含んで来てお金がかさむ。その中で国保が未納になる方が多いと思う。保険証がないために医療機関にかかれぬ方は、民生委員に相談するか、役場へ相談していただいたら十分な対応はさせていただきます。乳幼児などの場合も同じです。

住民生活課企画員 資格証明書八十世帯、短期保険証では一ヶ月分が七六世帯、三ヶ月分が七九世帯です。資格証明書八十世帯のうち居所不明九世帯、その他の納税意識のない世帯及び社会情勢が起因していると考えています。

介護保険について (保険料)

質問 一号保険者の介護保険料基準額が一期目二、九五七円。二期目三、四二五円、三期目四、四二二円と回を重ねるに従って負担が上がっています。十八年、十九年は激変緩和措置があっても平成十七年度に対し十九年度は四、五〇〇万円位の負担増になり二十年度は緩和措置なく条例通りなので約五、〇〇〇万円位の負担増になる。例えば、四階層では平成十九年度に四万四、二〇〇円の人が二十年には五万三、三〇〇円になる。五段階の四の人は六万一、八〇〇円から六万六、六〇〇円になる。二十年度には見直されてさらに上がると予測される。保険料を払うのが大変、高齢者は年金から引き落される。保険料もう少しなんとかならないか、の声を大きくなっています。町長はどう考えていくか。

町長 上富田町はこの付近では安いのです。施設のない所は安いのが実態です。次の改定の際は絶対上がると言っています。高齢化率が現在十九％。介護保険事業に関心を持っていただき明るい生活をしていただい

ています。最大の課題は保険税の改定です。十九年度末には基金がなくなっても国民健康保険税は今のままにする方針を出しています。

資格証明の発行ですが国保税の未納が多くなるのは国保だけでなく他のも含んで来てお金がかさむ。その中で国保が未納になる方が多いと思う。保険証がないために医療機関にかかれぬ方は、民生委員に相談するか、役場へ相談していただいたら十分な対応はさせていただきます。乳幼児などの場合も同じです。

住民生活課企画員 資格証明書八十世帯、短期保険証では一ヶ月分が七六世帯、三ヶ月分が七九世帯です。資格証明書八十世帯のうち居所不明九世帯、その他の納税意識のない世帯及び社会情勢が起因していると考えています。

町長 福祉支援制度を作つてはという事ですが、一例ですと食料品支援の措置とか、福祉について一度研究させていただきます。

他に、教育基本法、新型交付税、三位一体の改革、定率減税廃止のことも質問しています。

大石哲雄議員

熊野高校へ看護学科が新設される計画について
各小中学校保有財産について

熊野高校へ看護学科が新設される計画について

質問

①その計画内容は。
②周辺地域住民と熊高生徒たちのよりよい関係をどう図っていくのか。
③寄宿舎の新築計画において、立平地区の交通道路事情の改良にどのような姿勢で取り組むのか。

教育長 熊野高校看護科の新設計画は、平成二十年四月に熊野高校一年生として四十名の新入生

受け入れ、二年生、三年生については、それぞれ四十名の定員を、その時点で生徒を引き継いでスタートします。計百二十名を受け入れます。寄宿舎は、女子用を別棟で二十名分建築する予定です。

町長 熊野高校と地域の方々で熊野高校協議会をつくっています。この協議会で活発な意見交換がなされ、地域の方々も各々の立場で話されています。今後とも、地域の方と熊野高校先生方、生徒たちが共栄できるように取り組めます。

寄宿舎に対する今後の対応ですが、この二月八日に、立平町内会長より私あてに要望書をいただいています。現地も調査してきています。建てる建たないというよりは、やはり危険な箇所もあります。短期的に施工するというのは難しいのですが、長期的な考え方に立って、できる部分からやります。

先日、県の教育委員会からも、熊野高校の用地を提供はできないが、そ



平成20年度より看護学科が新設される熊野高等学校

うという使用をしてもかまわないという話もいただいています。どういう順序で、どういう費用負担にするか、今後検討させていただきますが、短期にはできないということはお理解願います。

各小中学校保有財産について

質問 各小中学校保有財産―書画、美術品―の維持、管理はどうしているのか。

町長 寄付という形で頂いた小さな物から高額なものもあります。各学校でも几帳面に保管、管理されるのですが、実態的にはそれらの基準がありません。

教育委員会と本庁が協議して、今後、どう台帳へ載せ、どう管理するか対応を考えます。

教委総務課長 各小中学校で保有している美術品ですが、絵画二十五点、書六点、彫刻一点、計三十二点あります。この維持、管理ですが、各校と

も寄贈者のご意思を酌んで、ほとんど学校内の廊下、多目的ホール、校長室等に掲示しております。

しかしながら、ご指摘の保存台帳等の整備については、一部の学校のみには整備されておりません。ご指摘のように、台帳を整理してチェック体制を整備する必要があります。感じております。

寄贈いただいた方への礼儀でもあると思いますので、教育委員会も検討していきたいと考えています。



三浦耕一議員

公共下水道事業について

質問 この事業は、かつて国が膨大な補助金と交付金を用意して推進した事業であります。

しかし、あまりにも多額の費用がかかるため、十年以上前から下水道を推進した市町村では、資本の償還と維持費が財政を大きく圧迫することになってきていると聞いています。東京都以外のどの自治体でも公共下水道に関する特別会計の膨大な赤字を抱えているのであります。

和歌山県においても、これは平成十五年度の数字ですが、和歌山市で年

間十億一三二万三、〇〇〇円、白浜町で年間二億九、〇六三万五、〇〇〇円の赤字を出しています。

従来は国の方も、この赤字をある程度一般会計で補填することを認めてきたようですが、平成十四年、日には定かでありませんが、総務省より、すべての費用の受益者負担の方針が出されています。

また、平成十六年十二月十六日に、国土交通省下水道部が出した下水道経営に関する留意事項に、「透明性の高い企業経営の推進、事業の管理、運営費用のすべてを回収できる水準に下水道使用料を設定し」とあります。受益者、下水道の利用者にはかなりの負担をお願いします。ということでもあります。

例えば、人口二万人を下水道化する建設費は三〇〇億円、管路に二二〇億円かかります。起債元利、償還が終わる前に管路は老朽化し、再工事が始まり、下水道工事が永久に終わらないという現象が全国で見られています。

す。三〇〇億円で始まって、終わることのない下水道事業の公費負担は、起債償還期間に三六六億にもなるということをご存知でしょうか。

国会での浄化槽法改正は、浄化槽に対する不信感を解消し、恒久施設としての社会的認知を確立しました。地方分権、税源移譲が進む中、上富田町の浮沈の指標ともなりかねない事業であります。その点は、どう考えているのか。

町長 まず、下水道についての考え方ですけど、先ほど説明ありましたように、公共下水道、農業集落排水事業、合併浄化槽の三本立てで上富田町はしています。

ある町では合併浄化槽だけで処理しているところがあるんですけど、残念ながら、一定の水準まで行ったときに合併浄化槽の数字は伸びないという欠点があります。

もう一つ、上富田町の朝来地域のように、家が連担しているところでしたら、新しい家を建てる場合は別ですけど、それ

までは合併浄化槽は設置できないという理由があります。

もう一点は、合併浄化槽を据えつけたところで、専用の排水路ができないということがありません。

これらの議論については、公共下水道事業とか、農業集落排水事業を採用するときに、相当議会の皆さんにも議論をしていただいたと思っております。



完成した上富田浄化センター（生馬地区）



町が使用している下水道マンホールのふた

意見書

3月定例会で議員提案による意見書が1件提出されました。

日豪EPA(経済連携協定)交渉に関する意見書は、全会一致で可決し、内閣総理大臣他、関係機関へ提出しました。

日豪EPA交渉に関する意見書

わが国政府は、日豪両国政府の共同研究最終報告書が取りまとめられたことを受け、昨年十二月十二日の日豪首脳会談で

日豪EPA交渉の開始に
留意しました。

わが国の豪州からの輸入状況を見ると、農林水産物輸入の占める割合が高く、しかもわが国にとって極めて重要な米、麦、牛肉、乳製品、砂糖などの品目が含まれているのが実態です。このため、豪州との交渉では、農産物の取扱いが焦点となるのは必至であり、その取扱い如何によつては、わが国農業・農村に壊滅的な打撃を与えるだけでなく、関連産業等に対しても影響を及ぼし、地域経済をも崩壊させる懸念があります。

このような状況の中、自由民主党や衆参農林水産委員会においては、日豪EPAの交渉にあたっては、政府に対して毅然とした対応を求めめる趣旨の決議が採択されました。

こうした状況をふまえ、政府においては、豪州との交渉にあたり、以下の事項が確保されるよう断固とした対応を強く要望します。

(一) 重要品目に対する例外措置の確保

わが国農業は、戦後農政の大転換を決定し、十九年度からの実施に向け、生産現場は現在、担い手育成や構造改革の取組みに懸命に努力しているところである。このようなかた、わが国にとつて、米、麦、牛肉、乳製品、砂糖などの重要品目の関税撤廃を行うことは、こうした改革の努力を無にし、食料自給率の向上どころかわが国農業を崩壊させることにつながるものであることから、交渉においてこれらの品目を除外するなどの例外措置を確保することと。

(二) WTO農業交渉に対するわが国の主張に基づいた対応の確保
これまでわが国は、「農業の多面的機能の發揮」と「多様な農業の共存」等の観点から、十分な数の重要品目の確保とその柔軟な取扱い、また上限関税の絶対阻止を主張し続けている。このため、豪州とのEPAにおいて、WTO交渉における従来の主張から譲歩すれば、これまで一致団結して戦ってきたG10各

国への背信行為となるとともに、これまでの交渉の努力が水泡に帰すこととなる。また、米国やカナダを含むその他の国々からも同様の措置を求められることにつながるかねないことから、WTO交渉における主張に基づいた整合性のある適切な内容が確保されるよう交渉すること。

(三) 交渉如何によつては交渉を中断するなど厳しい判断を持って交渉に臨むこと
豪州とのEPA交渉にあたっては期限を定めず、粘り強く交渉するとともに、豪州側がわが国の重要品目の柔軟性について十分配慮しない場合は、交渉の継続について中斷も含め厳しい判断を行うこと。

提出者 木本眞次
畑山豊

賛成者 山本明生
三浦耕一
大石哲雄
榎本敏

委員会活動レポート

3月議会に産業民生常任委員会の所管事務調査報告書が提出されましたので、抜粋して掲載しています。

産業民生常任委員会

調査地及び目的

① 福岡県糸島郡志摩町
ごみ処理施設 糸島クリーンセンター

※環境衛生について(糸島クリーンセンターの取り組みについて)

② 山口県阿武郡阿武町
(あぶちよう)

※農林水産業について(グリーン・ツーリズム推進の取り組みについて)

調査年月日
平成十九年一月十七日
〜一月十九日

●糸島クリーンセンターの概要

糸島クリーンセンターは、前原市、志摩町、二丈町の一市二町で組織する糸島地区消防施設組合が運営しており、増大する可燃ごみ・不燃ごみ・粗

大ごみなどを適正に処理すると同時に、資源の有効利用と最終処分場の大幅な減容化を図るため、約一三〇億円の工事費と三年間の歳月をかけて、ごみ溶融処理施設を建設し、敷地面積は、全体敷地約八八、〇〇〇㎡、工場棟建築面積約四、四〇〇㎡、処理能力二〇〇t/日(一〇〇t/二四h×二炉)、処理方式直接溶融・資源化システム(シャフト炉式ガス化溶融方式) 工期 着工平成九年五月 竣工平成十二年三月、平成十二年四月一日より正式稼働開始となっています。

《まとめ》

同施設はごみ質の多様化に対応するため、製鉄用溶鉱炉の技術に基づき開発された新ごみ処理技術でごみを溶かして処理し、処理後に発生する残渣をスラブとメタル(鉄粒)として取り出し、スラブはコンクリート二次製品や道路の路盤材等に再利用することにより、最終処分を要するのは飛灰のみとなり、埋め立て処分量を従来の十分の一

に削減することができ、またダイオキシン類対策の完備や、省エネ対策としてのごみ発電による電力の活用や蒸気の利用を織り込むなど、環境保全にも十分配慮した施設となっております。

施設敷地内に別棟で設置されたりサイクル施設では、資源ごみとその他不燃ごみを安全かつ迅速に処理する能力を有し、粗大ごみの再利用を促進するため、家具等の不良品の修理・再生を行い展示し、希望者に低価格にて販売を行う等、リサイクル運動の拠点としての役割を果たしており、住民が直接参加し協力できる施設を目的に取り組んでいる。また隣接する一般廃棄物最終処理場は、溶融飛灰のみの処理により、埋立面積も約四、八〇〇㎡（上富田町の場合約二一、〇〇〇㎡）と少ない面積で、処理場から排出される浸出水は最新のシステムにより処理を行っています。

等、それぞれ共通した課題を抱えています。その後、広域的な観点で、このようなごみ処理施設も視野に入れた検討も必要になってくるのではないかと考えます。

「環境衛生について」は、住民に直結した問題であり、行政、議会ともども積極的に取り組んでいかなければなりません。

●阿武町の概要

阿武町は、萩市に隣接する山口県の北部に位置し、面積一六・〇七km²、人口四、一〇〇人の美しい海と緑の山々に恵まれた町です。日本海沿いの海岸線は北長門海岸国定公園に指定され、海岸を通る国道一九一号は、「北長門コバルトライン」とも呼ばれており、海水浴やサーファーで賑わう「清ヶ浜」は、全国でも少ない「鳴き砂」として知られている。また全国で第一号登録の「道の駅 阿武町」があり、道の駅発祥を記念した「発祥交流館」をはじめ、特産物直販所などの交流施設が並び、新鮮な魚介

類、特産品などを求める客や地元の人々の交流の場として賑わっている。稲作や白菜、ほうれん草などの生産がさかんで、また全国で唯一角がない肉牛として生産されている「無角和牛」は、霜降りの肉とは違い、脂肪が少ない赤身が特徴で、やわらかく和牛本来の赤身の風味が味わえることで有名である。

阿武町も単独町政を継続している。

《まとめ》

今全国的にも普及段階にあるグリーン・ツーリズム（農林漁業・自然等の体験交流）を積極的に推進している山口県阿武町を訪問しました。

グリーン・ツーリズムとは、最近では「緑豊かな農産漁村地域において、その自然・文化・人々との交流等を楽しむ滞在型の余暇活動」という解釈もされ、地域を活性化すべくひとつの方策となっています。

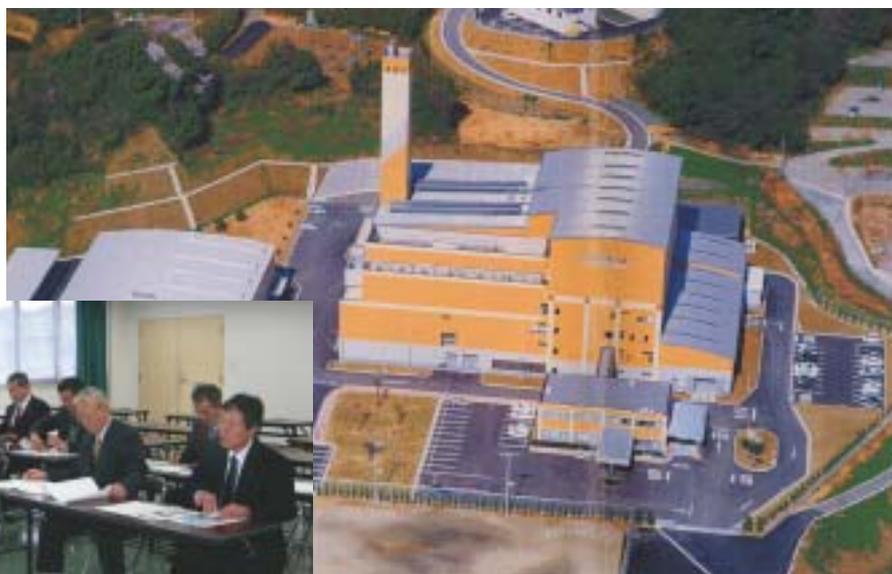
阿武町では、山口県のモデル事業としてグリーン・ツーリズム（体験交流事業）を推進しており、

農家民宿、漁家民宿、農業・林業体験事業等、まちの人がむらに滞在し、むらの生活を理解したり、むらの人々と交流をすることにより、農山村の活性化を図る目的として事業を積極的に進めており、同時に「みんな元気だまちづくり、交流から滞在、そして定住・永住へ」といった過疎化対策も展開中でした。

上富田町では阿武町のように農家民宿等のような滞在型の交流事業は行っていないが、現在、基幹作物である「梅採り体験、みかん採り体験」等、PR活動として都市と農村の交流を行い、産地と消費者の交流をすることにより、消費者が求める農作物を作る農業を目指した積極的な取り組みを実施しています。

交流事業は、都市住民のニーズを満たすだけでなく、町、村の人が都市の人と交流をすることによりその意見を聞いて「自分たちが今まで見えなかったことが見える。」ということにもなり、それが様々な町の活性化に繋がるものと考えます。

今後においても、更に「農林業等の振興」「住んでみたい町」を目標に、グリーン・ツーリズムも視野にいれた事業の取り組みを望むものです。



糸島クリーンセンターで

